

*"the whole truth, and nothing but the truth about Jesus"*

# THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

## デイリー・ジーザス・ニュース #348

### 天国におけるイエスの永遠の奉仕

### 初代教会における復活したイエスの継続した言葉と働き

イエスは毎日教会に新しい信者を加えている

使徒行伝 2章41-27節; 11章19-21節

=====

41 彼の言葉を完全に受け入れた人々は水に浸され、その日およそ三千人が彼らの仲間に加えられました。

42 彼らは使徒たちの教えを熱心に聞き、交わりを保ったり、パンを裂いたり、さまざまな祈りをしたりしていた。43 使徒たちが絶えず行っていた多くの不思議な業とするしに、皆、畏敬の念を抱いていた。

44 信者たちは皆、互いに交わりを持ち、すべてのものを共有にしていた。45 彼らは財産や持ち物を売って、困っている人に施しをしていた。

46 彼らは毎日、神殿の境内に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心から共に食事を共にし、47 絶えず神を賛美し、すべての人々から好意を受けていました。

そして主は日ごとに救われる人々を彼らの数に加えてゆかれました。

6年後…

19 ステパノが殺されたとき、彼らに起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで旅をして、特にユダヤ人の間で御言葉を語りました。20 しかし、キプロスとクレネから来たある人々はアンティオキアに上って行き、ギリシャ人にも福音を宣べ伝え、大胆に主イエスの福音を伝えました。

21 主の御手が彼らと共にあったので、信じた大勢の人々が主に立ち返った。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルカ = L、ヨハネ = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレム、ユダヤ、サマリア...アンティオキアまで
タイムライン	ペンテコステ後の6年間
イエスの生涯の文脈	第9段階: イエスの復活と永遠の宣教
	イエスの永遠の奉仕
	初代教会におけるイエスの言葉と働き
タイトル:	イエスは毎日教会に新しい信者を加えている

このテキストで、ルカはイエスの永遠の使命についての彼の考えをより深く理解させてくれます。

ルカは、イエスの伝記二巻からなる第二巻の冒頭で、第一部である「ルカによる福音書」には「イエスが天に上げられるまで、語り始められたこと、なされたことすべてが記されている」(使徒言行録1章1節)と述べています。つまり、第二巻(使徒言行録)は、イエスの昇天後の継続的な言葉と行いについて記されていることとなります。言い換えれば、イエスは天における永遠の宣教活動の段階において、聖霊を通して地上で生き続け、活動を続けられているのです。

前回の「デイリー・ジーザス・ニュース」では、イエスがペンテコステの日に約束された聖霊を注ぎ、それ以来、すべての信者に聖霊を与え続けていることを見てきました。この聖句では、イエスの天における永遠の宣教活動のもう一つの重要な側面が、イエスを信じるすべての人々を導き、救いを与えることであると分かります。

「主は毎日、救われる人々を彼らの数に加え続けておられました。」

、人々の救いにおけるイエスの役割を描写する際に、継続的な行動を表す動詞の時制を用いています。「主は加え続けておられた」。イエスはこのように「毎日」そうしておられるので、世界中の教会に絶えず新しい信者を加えているのです。イエスはこう約束しておられました。「わた

**しは地上から上げられるとき、すべての人をわたしのもとに引き寄せるであろう」。**（ヨハネ 12.32）

これは、ルカが使徒行伝の中でイエスに帰している永遠の業です。これは、地上での宣教活動においてイエスの使命を定めた業と同じです。 **「人の子は、滅びの中にいる命ある者を捜して救うために来たのである。」**ルカ19章10節 イエスは、信じるすべての人々にとって救いの創造者であり、救いを生み出す方です。

そのため、ルカはイエスが6年間エルサレムの教会に毎日新しい信者を加え続けたことを記しています。そして、信者たちの証しが異邦人の町アンティオキアにまで及ぶと、パウロはそこでのクリスチャンの回心もイエスの働きによるものだとしました。使徒言行録全体を通して、イエスはすべての人々をご自身への信仰へと導き、聖霊の賜物を与え続けておられます。

の永遠の宣教におけるこの二つの本質的な側面の重要性は、いくら強調してもし過ぎることはありません。すべての未信者をイエスへの信仰へと導く過程を導くことによって、イエスはこの時代におけるすべての信者の直接の救い主です。そして、すべての新しい信者に内住する聖霊の賜物を与えることによって、イエスはすべてのクリスチャンとご自身の神の豊かさを分かち合い、私たちが神の豊かさそのものに満たしてくださいます。この二つの働きは、天におけるイエスの永遠で目に見えない宣教を、地上のすべての信者と未信者に結びつけるのです。

1世紀、イスラエルで全地球のごく一部の人々の間で始まったイエスの地上での宣教は、イエスが天に昇られた後、突如として地上と天のすべての人々の生活へと広がりました。永遠のイエスの宣教は、歴史上のすべての人々、そして全宇宙の被造物に及ぶ普遍的な宣教です。これが **「天と地のすべての力」** が意味するものです。だからこそ、復活と昇天に続くイエスの生涯と宣教の最後の永遠の段階は、イエスの生涯を理解する上で非常に重要なのです。

## 応用

イエスは時空を超えて生き、死に、そして復活し、天国において私たちの永遠の、普遍的な救い主となりました。イエスの生涯のこの部分は永遠に終わることがないので、私たちの生涯も決して終わることはありません。

イエスはあなたの人生において、どのようにご自身への信仰へと導いてくださいましたか？今もそうしておられるのでしょうか？

主はあなたをどのように用いて、他の人々を主への信仰へと導いておられるのでしょうか。今日、あなたは主の証人として、さらに何ができるのでしょうか。

あなたは日々、内在する聖霊の賜物にどれほど敏感ですか？ どうすれば、聖霊があなたと共にいることをもっと身近に感じることができるでしょうか？